令和５年度 第１３回科学の甲子園山形県大会 開催要項

１　目　　的

「科学の甲子園全国大会」は、全国の科学好きな生徒等が集い活躍できる場として、理科・数学・情報分野の競技を通し、科学好きの裾野を広げることと、トップ層を伸ばすことを目的として、科学技術振興機構（ＪＳＴ）が、平成２３年度より実施しているものである。本県においても科学好きな生徒に活躍の場を提供し、実技種目を伴う探究的・課題解決的な競技を通して、科学に対する意欲を高め、科学的な思考力や表現力を養うとともに、科学の甲子園全国大会の予選として、本大会を開催する。

２　開催体制

主　　催　　山形県教育委員会
共　　催　　山形大学
　　山形県立産業技術短期大学校
　　山形県高等学校文化連盟科学専門部
　　山形県高等学校教育研究会数学部会
　　山形県高等学校教育研究会理科部会
　　山形県高等学校教育研究会情報部会
後　　援　　国立研究開発法人科学技術振興機構
　　山形県高等学校文化連盟

３　大会期日　　令和５年１０月２９日（日）　（実技競技のみ）

（筆記競技については、別途定める期日にて参加各校で実施する）

４　大会会場　　山形県教育センター（天童市大字山元字犬倉津２５１５）

（参加規模によっては他施設を使用する場合もある）

５　大会当日の日程（出場チーム数によって時間帯が変更となる場合がある）

８：５０～　９：４５　選手受付
９：００～　９：４５　競技役員会議
１０：００～１０：２５　開会行事
１０：４０～１２：５０　実技競技（総合系）
１３：００～１３：２０　閉会行事

６　出場チームの構成員

科学の甲子園全国大会開催要項に準じる。

（１）　出場チームは、高校１、２学年の生徒（高等専門学校にあっては同年次の学生）により、１校単位で構成する。

（２）　出場チームの構成員は６名以上８名以下とする。

（３）　県大会の出場チームは、校内選考を経て、各学校において決定する。出場チーム数については、１校につき１チームまでとする。

7　参加申込

参加申込書については、県教育センターホームページよりダウンロードした様式に必要事項を入力して作成し、その電子データを下記の「科学の甲子園山形県大会実行委員会事務局」にＥメールで送信すること。その際、必ず学校長の出場認知を得ること。

【科学の甲子園山形県大会実行委員会事務局】
県教育センター　指導主事　岸淳一郎　　E-mail　kishijun@pref.yamagata.jp
メールの件名：「【○○○】科学の甲子園山形県大会参加登録」
※○○○には、高校名の略称を入力すること
【山形県教育センターＨＰ】
「科学の甲子園山形県大会」より申込書等ダウンロード
お申込みＵＲＬ：http://www.yamagata-c.ed.jp/科学の甲子園/

お申し込み

【申込締切日】　令和５年９月１１日（月）必着

8　競技の種類

大会競技は、筆記競技と実技競技〈総合系〉からなる。

（１）筆記競技

筆記競技は、理科４領域、数学、情報の中から、知識を問う問題及び知識の活用について問う問題で競うものとする。教科・科目については、その枠を超えた複合的な問題も出題され得ることとする。

（２）実技競技〈総合系〉

実技競技は、総合系（科学技術を総合的に活用して、ものづくりの能力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力等を用いて課題を解決する力を競うもの）を行う。

9　競技の形式及びエントリーの人数

競技の形式については、原則として以下のとおりとするが、詳細は競技要領により定めるものとする。

（１）筆記競技

- エントリーは選手６名、補欠２名までとする。
- 競技は、６名が問題を分担したり相談したりしながら協働で解答し得点を競う。

（２）実技競技〈総合系〉

- エントリーは選手３名、補欠１名までとする。
- 事前配付資料に基づき競技を実施する。
  ※問題の内容次第では、事前に問題を提示しない場合もある。
- 競技は、３名が問題を分担・相談しながら協働で解答し得点を競う。

10　競技選手について

出場チームの生徒は、それぞれ選手として１競技以上にエントリーすること。同一人が複数の競技に出場することは可能である。各競技に参加する生徒について、エントリーシート提出後の変更は基本的に認めない。ただし、病気その他不測の事態によりメンバーを変更する場合、引率教員は、開会行事開始前までに大会事務局に変更を申し出ること。メンバー変更の可否は協議により判断する。

11　表彰等

（１）　山形県大会終了後、別日程にて採点委員会を開催し、採点を行ったのちに各校に成績を通知する。

（２）　筆記競技及び実技競技〈総合系〉の総合(合計)得点によって、順位を決定し、上位３チームを表彰する。ただし、総合得点が同点の場合は、実技競技〈総合系〉の点数が高いものを上位とする。

（３）　筆記競技および実技競技〈総合系〉のそれぞれにおいて成績点数が最も高いチームを表彰する。

（４）　総合得点の優勝チームは、山形県代表チームとして令和６年３月１５日～１８日に開催される全国大会（つくば市）への出場権を獲得する。

12　代表強化

科学の甲子園全国大会に出場する県代表チームの強化を目的として、４回（予定）の強化講習会を、山形大学や県立産業技術短期大学校等で教授等を講師に迎え開催する。

日程や研修会場等の詳細については代表校と相談し、代表強化講習会要項を別途定めるものとする。

なお、強化講習会への生徒の参加については、保護者に参加の承諾を必ず得た上で、原則として教員１名以上が引率することとする。この際の生徒の旅費は参加者負担とする。なお、引率教員については、旅費を配当替えする。

13　その他

（１）　山形県大会への生徒の参集については、実技競技出場者４名（補欠１名含む）とし、保護者に参加の承諾を必ず得た上で、原則として教員１名以上が引率することとする。生徒の旅費は参加者負担とする。なお、競技役員等を委嘱した引率教員については、旅費を別途配当替えする。

（２）　山形県大会へ参加申込みをしたチームの数によっては、大会前に追加募集をする場合がある。

（３）　全国大会出場にかかる県代表チーム派遣費用等については、原則としてＪＳＴが負担する。

（４）　山形県大会実施の可否判断について

災害等により、山形県大会を実施できない場合は、県大会当日の午前７時までに、県教育センターWebページ（http://www.yamagata-c.ed.jp/）のトップページに実施不可の連絡を掲載する。参加者は、必ず閲覧すること。

通常通り山形県大会を実施する場合は、県教育センターWebページに、連絡等の記載はしない。